



ふくおか [Good] 農業人100

主な農産物 / 米、小麦、ブロッコリー、アスパラガス

長澤 基之さん (39歳)

(営農地 / 糟屋郡須恵町上須恵)

地元の皆さんのために

《就農のきっかけ》

自分で経営を始めたい

前職である広告代理店に勤めていた頃は、イベントの企画や営業など毎日、朝から晩まで忙しく、家族との時間も取れない状況で働いていたそうです。30歳を過ぎ、「自分で経営したい。」との思いが強くなり、将来をじっくり考えた結果、経験のある広告代理店での独立ではなく、基盤(親の農地と農業機械あり)があった農業を選んだそうです。

農業のために特別に資金を準備していたわけではなかったようですが、自宅の引越しや農業を始めるにあたっての種代、肥料・農薬、小農具、資材など諸々で、自己資金をかなり使ったとのこと。

《これまでの過程》

就農、そして新しい取り組みへ

就農を決意し、親の農地と借地により農業(米1.5ha、ブロッコリー1ha、アスパラガス10a)を始めたのですが、農業経験がほとんどなかった(田植え、稲刈りの手伝い程度..)ため、何をするにも始めての事ばかりで、初年度はとでも大変だったそうです。特にブロッコリーは、適期作業ができず、虫や病気が発生し、悔しい思いをしたそうです。その後は、毎年水稻の面積が増え、現在は、水稻6.5ha、小麦2ha、ブロッコリー50a、アスパラガス5aを作っています。

「最初は、農地がなかなか集まらず苦労しましたが、最近はやっと声がかかるようになってきました。」と話します。「農地を借りることは、基盤がある人でさえも、すんなりとはいかない問題です。」

農業を始めて7年目の平成23年7月に、新しい事業展開として、自営の農産物直売所「Switch」を建てています。品揃えは、地元の農産物を中心に、自分で足を運んで選んだ特産品を、買う側の目線で、明るく楽しい雰囲気ですべてしています(写真)。広告代理店での経験を活かし、直売所の名前やロゴ、レイアウトなどは、お手製です。

現在、農業部門と販売部門に一人ずつ、働いているのですが、



プロフィール

- 家族構成 / 本人、妻、子ども3人
- 前職 / 広告代理店
- 営農年数 / 約7年
- 従業員数 / 2名
- 耕作(経営)面積 / 7ha
- 販路 / 直売所

「直売所の地元農産物が、まだ少ないので、さらに増やしていきたい。多くの人に来てくれる楽しい場所にしたい。」と意欲的です。

《これからの展望》

地域農業を元気にしたい

地元で農業に興味のある人や会社をリタイアした人たちに、生きがい農業として、いろいろな農産物を作ってもらう場を提供しています。また、トラクタなど農業機械を買うのは大変なので、作ってくれる人には無料で貸し出しています。そして、できた農産物は直売所に提供してもらっています。「もっと多くの人に、元気に喜んで農産物を作ってもらいたい、そして地元の皆さんに食べてもらいたい。」と考えています。

また、「須恵町に多くの人に来てもらえるよう、収穫体験ができる農園を整備していきたい。」と考えています。



Good 成功のためのポイント

一番大切なことは、人脈づくりです。新規参入の人は特に、就農する集落での集落行事への参加を含め、自分から積極的に関わることが必要です。また、JA青年部や県青年農業士など同世代の人との仲間づくりも大切です。情報交換する事で地域の情報も得られますし、刺激を受けることができます。私のところでは、農業を始めたいという気のある人への農業体験の場も準備しています。まずは、来て見てもらえればと思っています。